

第12回「全国プロポーズの言葉コンテスト2018」 恋人の聖地アワード授賞式&記者発表会

タレントの菊地亜美さん、2018平昌五輪金メダリストの高木菜那さんが受賞



フォトセッション

NPO法人地域活性化支援センター（静岡県静岡市）は、5月29日午後1時から青山セントラルグレース大聖堂において第12回「全国プロポーズの言葉コンテスト2018」恋人の聖地アワード授賞式&記者発表会を開催した。観光庁が後援しているイベントで、結婚気運の高揚に繋がる『プロポーズの日』（6月第1日曜日/今年は6月3日）にちなんで開催した。

今回も、全国の「恋人の聖地」や、公式WEBサイトで「プロポーズの言葉とエピソード」を募集（5月11日締切）。過去最多となる8294点の応募があった。最近の傾向として、結婚式よりプロポーズに力を注ぐカップルや、授賞式当日 その場でプロポーズを行う応募者も増えている。この日には、上位入賞者18組を招き「プロポーズの言葉」の審査発表と授賞式、記者発表会を開催した。

ゲスト審査員は、「第2回ベストプロポーズアワード」を受賞したタレントの菊地亜美さん。そして「恋人の聖地アワード」を受賞した平昌冬季五輪2種目の金メダリスト高木菜那選手（日本電産サンキョー所属）も初のゴールデンブリス姿で登場。同センター理事で選定委員の桂由美さんも出席した。

また、全国各地の自治体関係者（市町村長など）も多数出席し、「第4回恋人の

聖地 観光交流大賞」授賞式も行った。主催の同センターでは「非婚 少子化の解消と、観光地の活性化」を目的に、2006年か、『恋人の聖地』プロジェクトを展開。現在は全国47都道府県 224カ所の自治体や地域を代表する民間施設が『恋人の聖地』になった。2007年から始まった『プロポーズの言葉コンテスト』も、『恋人の聖地』とともに結婚促進と観光地の活性化イベントとして浸透している。

この日は、恋人の聖地アワード授賞発表会：「恋人の聖地アワード」が高木菜那さん（日本電産サンキョー所属）に授与されたほか、「第2回ベストプロポーズアワード」菊地亜美さんに授与された。

また、自治体等への「恋人の聖地」銘板授与式ほか、入賞者18組による「プロポーズの言葉」とエピソード発表 「第12回全国プロポーズの言葉コンテスト2018」最優秀賞と特別賞の発表 表彰式を行い、質疑応答の後、受賞者 審査員のフォトセッション、高木菜那さん、菊地亜美さんと桂由美さんが行われた。



右：菊地亜美さんと桂由美さん（右）

【恋人の聖地観光交流賞団体 企業】

山口県 下関市（海峽ゆめタワー）▷滋賀県 草津市（草津市立水生植物公園みずの森）▷千葉県 木更津市（中の島大橋）▷愛知県（恋人の聖地 サテライト）愛知県連携▷岐阜県 高山市（飛騨大観乳洞）▷大阪府 貝塚市（水間寺愛染堂）▷愛媛県 松山市（北条親島）▷熊本県 美里町（ハートが出来る石橋）▷香川県 土庄町（エンジェルロード）▷岩手県 岩手町（石神の丘美術館）

なお、恋人の聖地 全国プロポーズの言葉コンテスト2018では、静岡県の杉山ひかりさん（女性 既婚者 会社員）「母子手帳の父親の年齢ってところ、40代じゃなくって30代のうちに書きたいな」が最優秀賞を受賞した。（特約記者：篠原功）